

福井銀行景気動向調査 調査結果

(平成27年1～3月 当期(実績))

(平成27年4～6月 次期(見通し))

株式会社 福井銀行 経営企画グループ
情報支援チーム

【調査の目的】

福井県内企業のみなさまに景気動向についてアンケート調査を行うことで、県内企業の現在の経営環境や今後の見通しについて情報提供いただき、共有することで、今後のみなさまの経営に少しでも役立てていただくことを目的としております。

【調査概要】

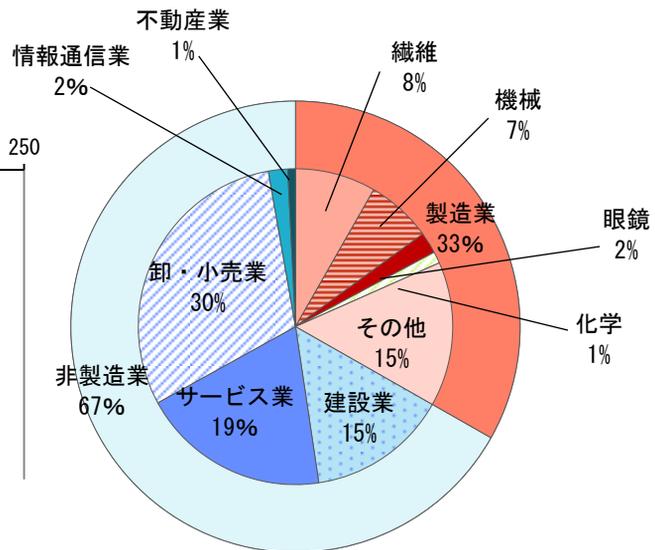
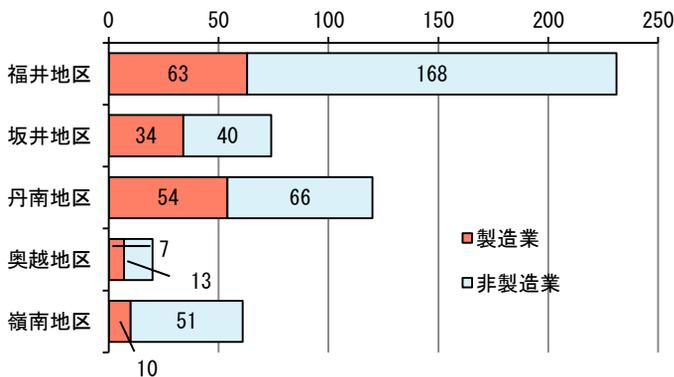
- ・調査対象企業 福井県内の企業 1,050社
- ・回答企業 506社(回答率 48.1%)
- ・調査時期 平成27年3月初旬

【DI調査について】

このアンケート調査では、DI(Diffusion Index)による分析を行っております。DIは、「好転」と回答した企業の割合と「悪化」と回答した企業の割合との差を求めたものです。景気が良い場合はプラス幅が大きくなり、景気が悪化している場合はマイナス幅が大きくなります。

※ 原材料価格、在庫状況については、「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合との差を求めており、上記の判断とは逆の傾向を示します。

【回答企業の概要】



【総評】

足元の景況感は、指標によって若干の差が生じているものの、総じてやや良好な水準にあります。

業種別にみると、売上(工事)高DI、受注残高DI等において、製造業が非製造業の水準を上回っております。

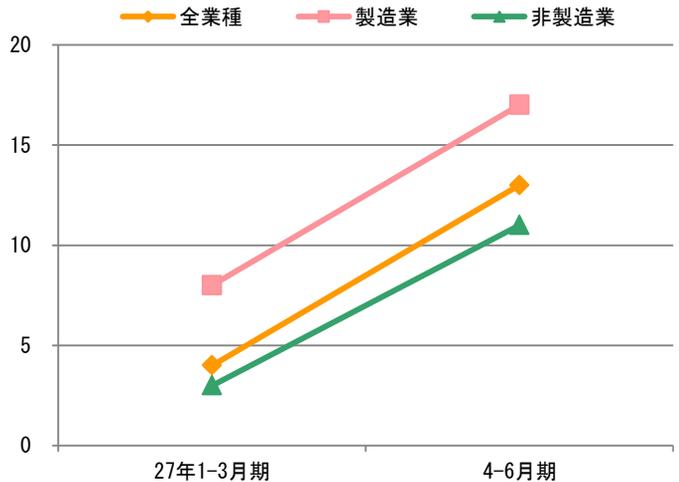
先行きについては、概ね改善が予想されています。ただし、前年4月に消費税引き上げという特殊要因があったことで、次期の見通しに大きな影響が生じていることに留意する必要があります。

※ 本調査の調査結果をまとめるにあたっては、福井県立大学地域経済研究所 江川誠一講師にご協力いただきました。

業況

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	4	13
製造業	8	17
非製造業	3	11

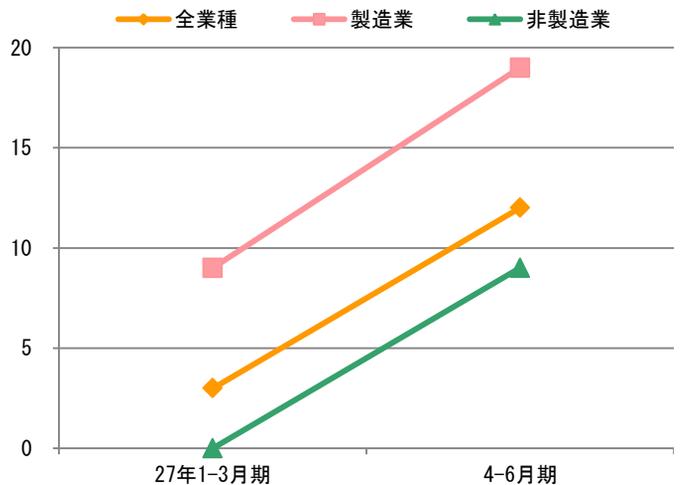
- 業況DIは小幅のプラスとなっており、先行きは大きく上昇することが予想される。
- 業種別にみると、製造業における水準の方が非製造業よりも高くなっているが、上昇傾向の度合いに大きな差はない。



売上(工事)高

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	3	12
製造業	9	19
非製造業	0	9

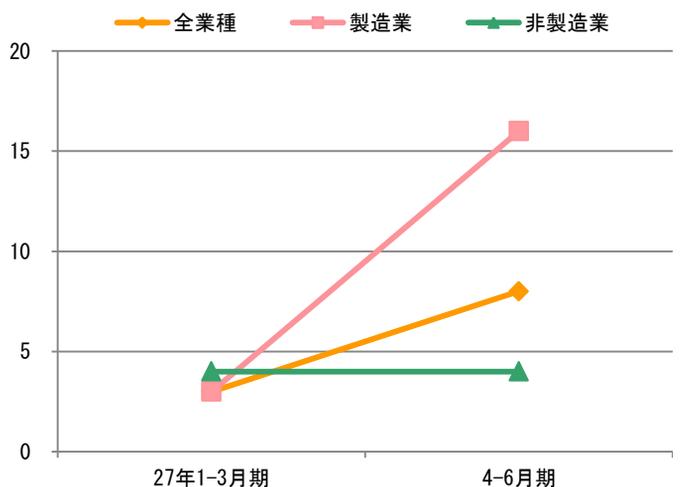
- 売上(工事)高DIは小幅のプラスとなっており、先行きは大きく上昇することが予想される。
- 業種別にみると、製造業が非製造業よりも大幅に高い水準となっている。



収益状況

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	3	8
製造業	3	16
非製造業	4	4

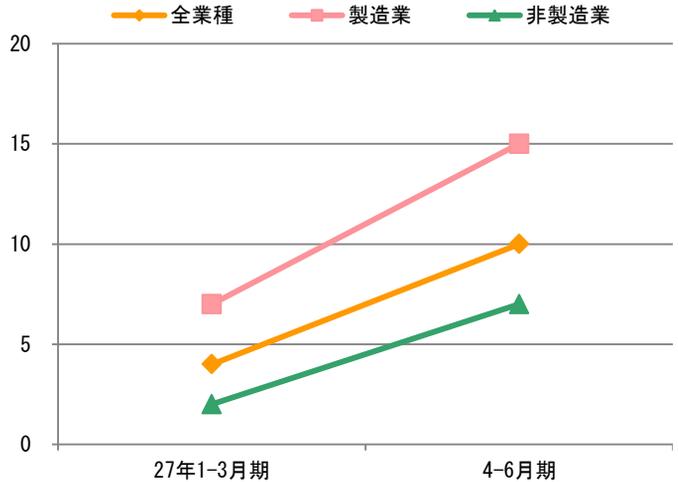
- 収益状況DIは小幅のプラスとなっており、先行きはやや上昇することが予想される。
- 業種別にみると、足元ではほぼ同じ水準にあるものの、先行きでは製造業が大きく上昇するのに対し、非製造業は横ばいとなっている。



受注残高

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	4	10
製造業	7	15
非製造業	2	7

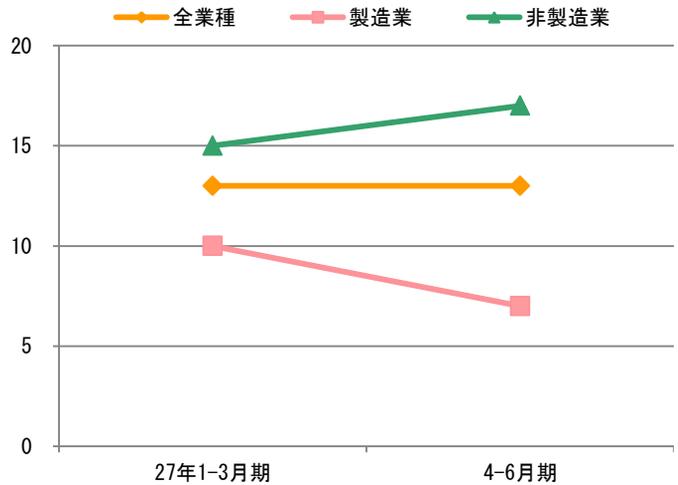
- ・ 受注残高DIは小幅のプラスとなっており、先行きは大きく上昇することが予想される。
- ・ 業種別にみると、製造業における水準の方が非製造業よりも高くなっており、先行きの傾向に変わりはない。



製(商)品販売価格

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	13	13
製造業	10	7
非製造業	15	17

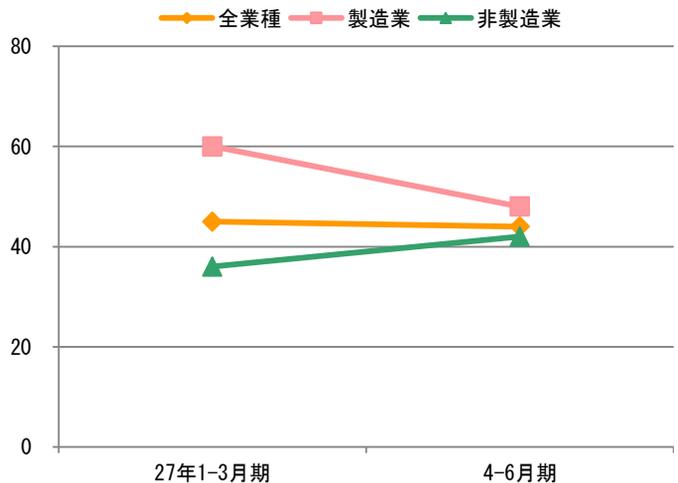
- ・ 製(商)品販売価格DIは小幅のプラスとなっており、先行きは横ばいになることが予想される。
- ・ 業種別にみると、非製造業が製造業よりも高い水準にあり、今後、この傾向が強まる。



原材料(仕入・資材)価格

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	45	44
製造業	60	48
非製造業	36	42

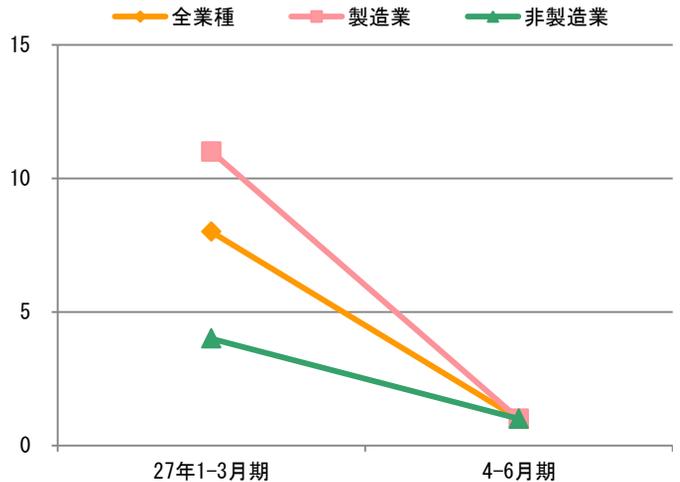
- ・ 原材料(仕入・資材)品価格DIは、消費税引き上げや円安による輸入価格の上昇等の影響から大幅なプラスとなっており、先行きは横ばいになることが予想される。
- ・ 業種別にみると、足元の水準は製造業が非製造業を大きく上回っているが、先行きではこの差がほぼ同水準にまで縮まる。



在庫

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	8	1
製造業	11	1
非製造業	4	1

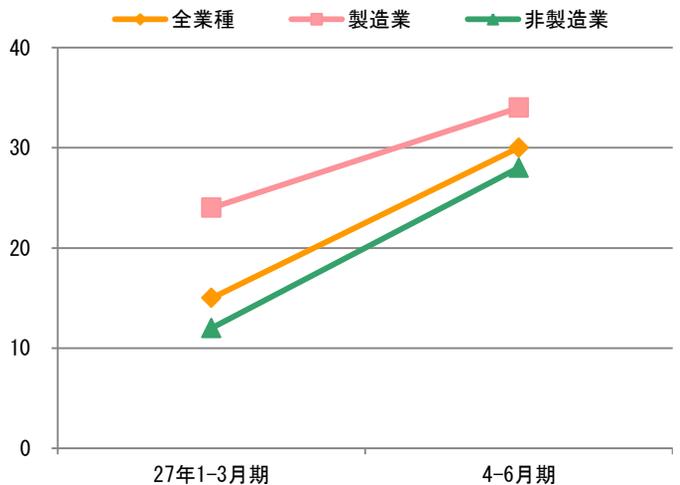
- ・ 在庫DIは小幅のプラスとなっており、先行きは大きく低下することが予想される。
- ・ 業種別にみると、足元では製造業が非製造業の水準を大きく上回っているが、先行きではその差が縮まり同水準になる。



雇用者数

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	15	30
製造業	24	34
非製造業	12	28

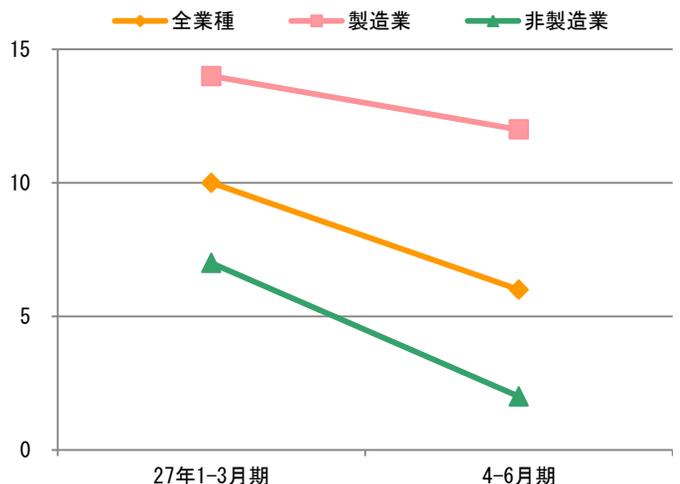
- ・ 雇用者数DIは大幅なプラスとなっており、先行きはそこからさらに大きく上昇すると予想される。
- ・ 業種別にみると、製造業が非製造業よりも高い水準にあり、先行きではその差がやや縮まる。



資金繰り

	当期(実績)	次期(見通し)
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	10	6
製造業	14	12
非製造業	7	2

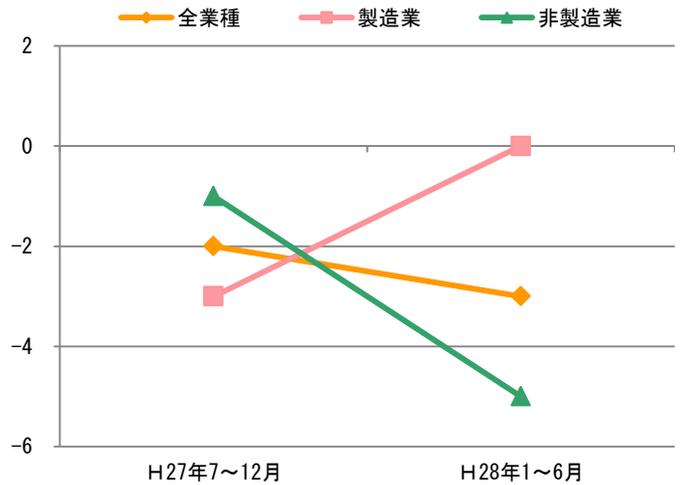
- ・ 資金繰りDIは大幅なプラスとなっており、先行きはやや低下すると予想される。
- ・ 業種別にみると、製造業が非製造業よりも高い水準にあり、先行きではその差が広がる。



景気動向

	次々半期(見通し)	
	次半期(見通し) H27年7～12月	H28年1～6月
全業種	-2	-3
製造業	-3	0
非製造業	-1	-5

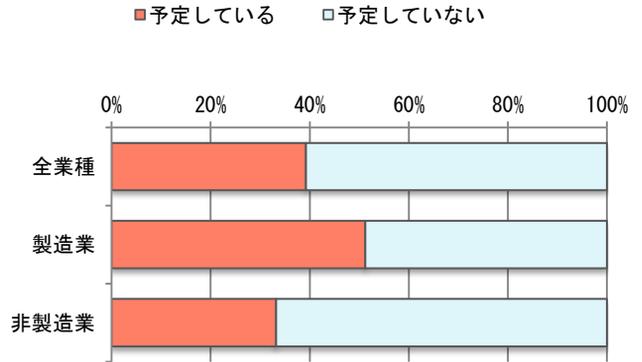
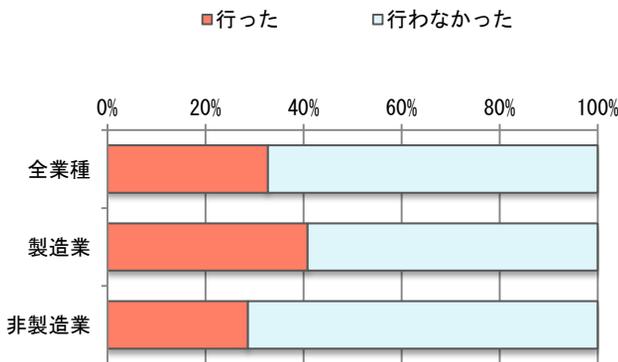
- 全業種における所属業界の中長期的な景気動向DIは、H27年7～12月で小幅なマイナス、H28年1～6月ではそのマイナス幅をやや広げると予想される。
- 業種別にみると、足元ではほぼ同水準にあるのに対し、先行きは製造業でやや上昇傾向、非製造業でやや低下傾向となっている。



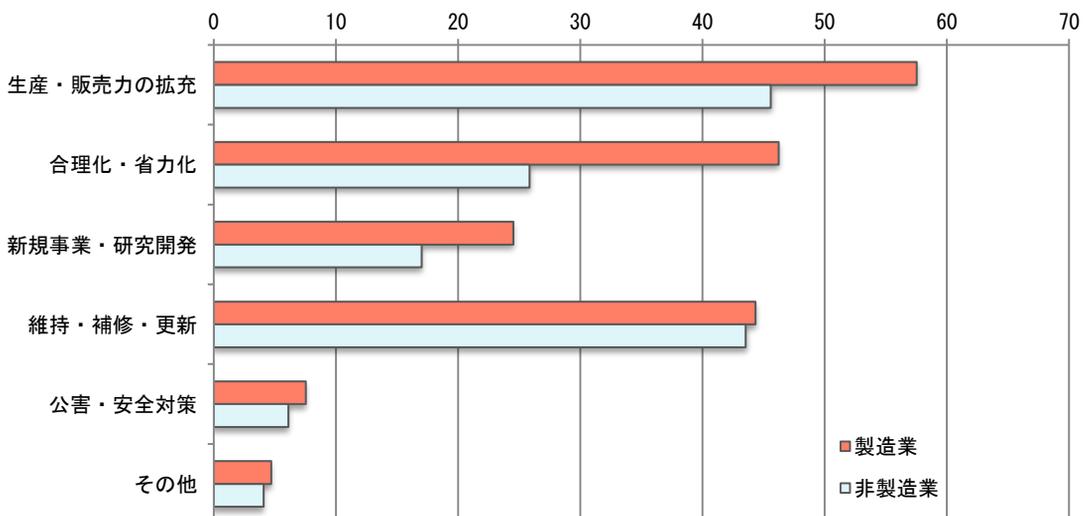
設備投資の有無

●平成27年1～3月

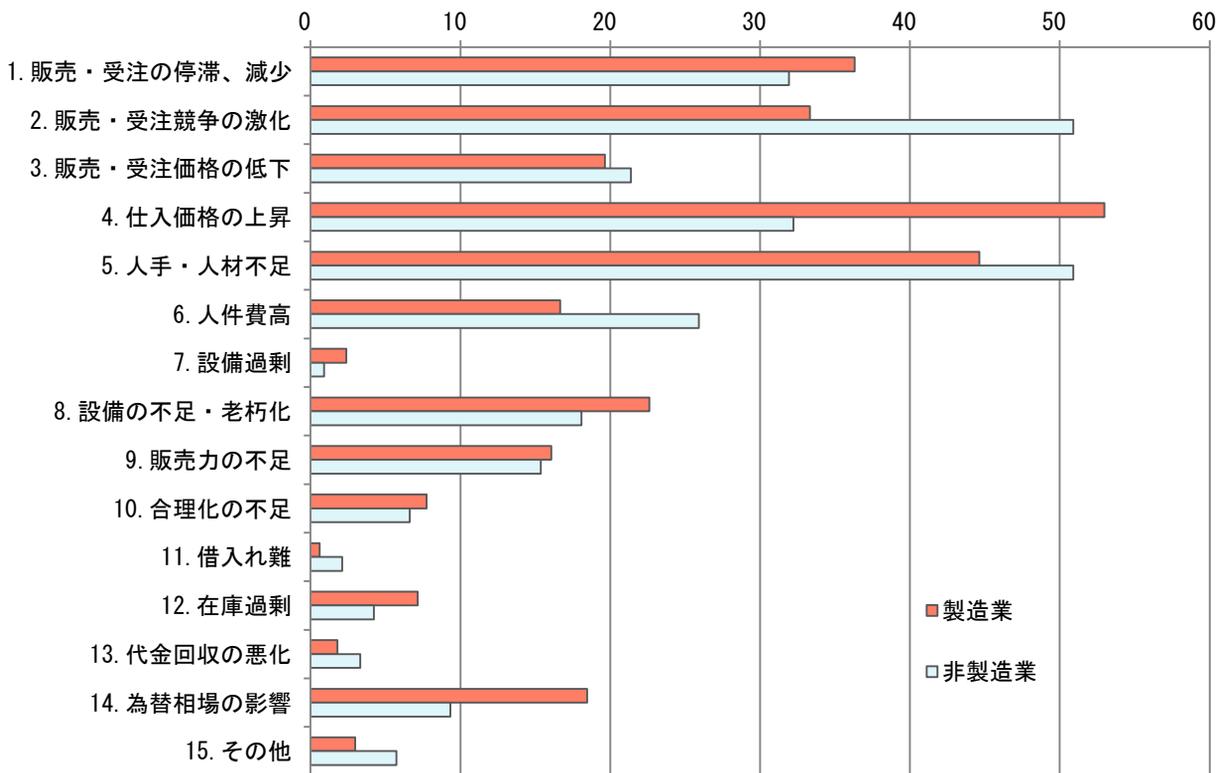
●平成27年4～6月



設備投資の目的(複数回答)



経営上の問題点について(複数回答)



今後の経営方針(複数回答)

